



第9回（2018年度）調査のご報告

地図で見ると小さな点でしかない「お庭」の環境にも、
さまざまな生きものたちが暮らしています。

「NPO 法人生態教育センター」では、2010年度から環境省や大学・企業などと協働して、皆様のお宅のお庭にはどのような生きものがいるのかを調べる「お庭の生きもの調査」を実施しています。2018年度に実施した「第9回調査」は、以下のような結果となりました。

●第9回お庭の生きもの調査 概要

- ▽主催 : 特定非営利活動法人 生態教育センター
- ▽後援 : 環境省 生物多様性センター
- ▽協力 : 東京都市大学 環境学部生物多様性研究室
同 メディア情報学部情報システム学科
- ▽調査目的 : 個人宅の庭を訪れる生きものを定点で観察し、そのデータを収集することで、生物多様性の現状把握と保全・回復のための施策立案の基礎データとして活用すること。
- ▽調査期間 : 平成30年（2018年）5月1日～10月31日
- ▽調査参加庭数 : 103庭（調査参加者数：1,266名）
- ▽調査報告件数 : のべ 4,203件
- ▽参加者居住地 : 北海道石狩市から、沖縄県豊見城市までの全47都道府県
- ▽参加者年齢層 : 未就学児童を含む家族から、80歳代の方まで

2018年度調査で確認された生きものは、**469種**（昆虫類：377種、鳥類：21種、両生類：8種、は虫類：6種、ほ乳類：7種、その他：50種）になり、2010年度からの総数では、**1,273種**にのびります。東京都市大学のご協力によるデータ解析では、農地が隣接していると全体の種数が増え、庭の緑が多く、近くに雑木林があると鳥類の種数が増加する……など、周辺の生息地から拡散しようとする生きものにとって、点在して隙間を埋める生息地として、市街地の生物多様性における「お庭」の大切さが、少しずつですが浮き彫りになってきました。

ご協力ありがとうございました。



●調査概要

▽指定した 20 種の生きものを庭で見かけたら、シートに○を付けるだけの、
初心者の方でも簡単にできる生きもの調査。

▽調査参加庭数 : 59 庭 ▽調査報告件数 : のべ 234 件

●お庭で見られた生きものランキング（対象 20 種）

2018年度調査					2017年度調査での ランキング		2016年度調査での ランキング		2015年度調査での ランキング	
順位	種	見られた 庭数	報告 のべ件数	%						
第1位	アリの仲間	54 庭	のべ216件	91.53%	スズメ	94.59%	アリの仲間	96.25%	アリの仲間	91.38%
第2位	クモの巣	53 庭	のべ216件	89.83%	アリの仲間	91.89%	クモの巣	96.25%	クモの巣	87.36%
第2位	スズメ	53 庭	のべ194件	89.83%	クモの巣	91.89%	スズメ	92.50%	スズメ	78.74%
第4位	モンシロチョウ	48 庭	のべ159件	81.36%	モンシロチョウ	68.92%	モンシロチョウ	73.75%	モンシロチョウ	63.22%
第5位	トンボの仲間	42 庭	のべ126件	71.19%	ヒヨドリ	68.92%	バッタの仲間	65.00%	トンボの仲間	56.90%
第6位	バッタの仲間	41 庭	のべ134件	69.49%	バッタの仲間	66.22%	ヒヨドリ	61.25%	アブラゼミ	56.90%
第7位	ヒヨドリ	39 庭	のべ115件	66.10%	トンボの仲間	59.46%	トンボの仲間	53.75%	バッタの仲間	52.30%
第8位	カマキリの仲間	35 庭	のべ101件	59.32%	カマキリの仲間	56.76%	カマキリの仲間	53.75%	ミンミンゼミ	48.28%
第9位	コオロギの仲間	29 庭	のべ 72件	49.15%	アオスジアゲハ	48.65%	アオスジアゲハ	51.25%	カマキリの仲間	44.25%
第10位	カエルの仲間	28 庭	のべ 93件	47.46%	アブラゼミ	47.30%	アブラゼミ	48.75%	アオスジアゲハ	40.23%
第10位	アオスジアゲハ	28 庭	のべ 75件	47.46%	ツバメ	43.24%	カエルの仲間	47.50%	ヒヨドリ	37.93%
第10位	アブラゼミ	28 庭	のべ 62件	47.46%	カタツムリの仲間	43.24%	ツバメ	47.50%	ベニシジミ	35.63%
第13位	カタツムリの仲間	26 庭	のべ 86件	44.07%	ベニシジミ	39.19%	カタツムリの仲間	46.25%	コオロギの仲間	35.06%
第13位	ベニシジミ	26 庭	のべ 70件	44.07%	コオロギの仲間	37.84%	ベニシジミ	45.00%	カタツムリの仲間	26.44%
第13位	ツバメ	26 庭	のべ 61件	44.07%	シジュウカラ	36.49%	ハチの巣	42.50%	ツバメ	25.86%
第16位	ハチの巣	25 庭	のべ 51件	42.37%	カエルの仲間	35.14%	シジュウカラ	41.25%	シジュウカラ	25.29%
第17位	シジュウカラ	23 庭	のべ 57件	38.98%	ハチの巣	33.78%	ミンミンゼミ	38.75%	カエルの仲間	23.56%
第18位	ミンミンゼミ	21 庭	のべ 34件	35.59%	ミンミンゼミ	31.08%	コオロギの仲間	37.50%	メジロ	21.26%
第19位	クマゼミ	16 庭	のべ 33件	27.12%	メジロ	28.38%	メジロ	30.00%	クマゼミ	20.11%
第20位	メジロ	13 庭	のべ 25件	22.03%	クマゼミ	25.68%	クマゼミ	26.25%	ハチの巣	18.39%

2014年度調査での ランキング		2013年度調査での ランキング		2012年度調査での ランキング		2011年度調査での ランキング		2010年度調査での ランキング	
クモの巣	94.29%	アリの仲間	95.56%	アリの仲間	100.00%	アリの仲間	96.88%	アリの仲間	93.35%
スズメ	90.48%	クモの巣	92.22%	クモの巣	100.00%	クモの巣	96.88%	クモの巣	91.14%
アリの仲間	87.62%	スズメ	90.00%	スズメ	88.57%	スズメ	95.31%	スズメ	90.03%
モンシロチョウ	75.24%	モンシロチョウ	88.89%	モンシロチョウ	75.71%	モンシロチョウ	82.81%	モンシロチョウ	72.30%
ヒヨドリ	60.00%	バッタの仲間	73.33%	バッタの仲間	75.71%	バッタの仲間	65.62%	バッタの仲間	60.11%
トンボの仲間	52.38%	トンボの仲間	65.56%	トンボの仲間	70.00%	アオスジアゲハ	60.94%	トンボの仲間	55.40%
バッタの仲間	46.67%	ヒヨドリ	64.44%	アブラゼミ	65.71%	トンボの仲間	60.94%	カマキリの仲間	48.20%
ベニシジミ	45.71%	カマキリの仲間	61.11%	アオスジアゲハ	60.00%	ヒヨドリ	58.59%	カエルの仲間	47.92%
カエルの仲間	44.76%	カエルの仲間	54.44%	カマキリの仲間	51.43%	ベニシジミ	58.59%	アオスジアゲハ	46.26%
カマキリの仲間	41.90%	アブラゼミ	53.33%	ベニシジミ	51.43%	カタツムリの仲間	55.47%	ベニシジミ	45.98%
アオスジアゲハ	41.90%	コオロギの仲間	50.00%	ヒヨドリ	50.00%	アブラゼミ	52.34%	カタツムリの仲間	42.38%
カタツムリの仲間	40.95%	アオスジアゲハ	47.78%	カタツムリの仲間	48.57%	カエルの仲間	50.00%	アブラゼミ	41.55%
ツバメ	36.19%	カタツムリの仲間	47.78%	コオロギの仲間	47.14%	カマキリの仲間	49.22%	ヒヨドリ	41.27%
アブラゼミ	35.24%	ベニシジミ	45.56%	カエルの仲間	42.86%	コオロギの仲間	42.97%	ツバメ	40.17%
シジュウカラ	35.24%	ツバメ	44.44%	ミンミンゼミ	41.43%	ツバメ	41.40%	コオロギの仲間	37.12%
コオロギの仲間	27.62%	シジュウカラ	41.11%	クマゼミ	37.14%	シジュウカラ	35.16%	シジュウカラ	32.13%
ハチの巣	25.71%	ハチの巣	37.78%	ツバメ	37.14%	ハチの巣	33.59%	ハチの巣	30.19%
メジロ	25.71%	ミンミンゼミ	31.11%	シジュウカラ	35.71%	ミンミンゼミ	33.59%	ミンミンゼミ	25.48%
ミンミンゼミ	25.71%	クマゼミ	27.78%	ハチの巣	34.29%	メジロ	26.56%	メジロ	22.71%
クマゼミ	17.14%	メジロ	26.67%	メジロ	27.14%	クマゼミ	25.00%	クマゼミ	19.67%

お庭にやってくる野鳥の調査

●調査概要

▽指定した 16 種を中心に、庭で見かけた野鳥の種類と数を記録する調査。

▽調査参加庭数 : 39 庭 ▽調査報告件数 : のべ 164 件

●お庭で見られた野鳥ランキング (対象 16 種)

2018年度調査				
順位	種	見られた庭数	報告のべ件数	%
第1位	スズメ	36 庭	のべ126件	92.31%
第2位	キジバト	24 庭	のべ 71件	61.54%
第3位	ヒヨドリ	23 庭	のべ 72件	58.97%
第3位	シジュウカラ	23 庭	のべ 68件	58.97%
第5位	ツバメ	18 庭	のべ 33件	46.15%
第6位	ハシボソガラス	16 庭	のべ 39件	41.03%
第6位	メジロ	16 庭	のべ 28件	41.03%
第8位	ハジブトガラス	14 庭	のべ 42件	35.90%
第9位	ムクドリ	13 庭	のべ 30件	33.33%
第10位	ハクセキレイ	7 庭	のべ 18件	17.95%
第11位	オナガ	6 庭	のべ 18件	15.38%
第11位	ヤマガラ	6 庭	のべ 14件	15.38%
第11位	カワラヒワ	6 庭	のべ 10件	15.38%
第14位	モズ	5 庭	のべ 13件	12.82%
第14位	コゲラ	5 庭	のべ 11件	12.82%
第16位	アオバズク	0 庭	のべ 0件	0.00%

2017年度調査での ランキング		2016年度調査での ランキング		2015年度調査での ランキング	
スズメ	90.24%	スズメ	85.71%	スズメ	86.96%
ヒヨドリ	73.17%	ヒヨドリ	69.05%	ヒヨドリ	69.57%
キジバト	63.41%	キジバト	59.52%	キジバト	52.17%
ムクドリ	46.34%	シジュウカラ	47.62%	シジュウカラ	47.83%
シジュウカラ	43.90%	ツバメ	47.62%	ムクドリ	45.65%
ツバメ	39.02%	ムクドリ	42.86%	ツバメ	43.48%
ハシボソガラス	34.15%	ハシボソガラス	40.48%	ハシボソガラス	34.78%
メジロ	34.15%	ハジブトガラス	35.71%	メジロ	34.78%
ハジブトガラス	24.39%	メジロ	33.33%	ハジブトガラス	28.26%
ヤマガラ	19.51%	ハクセキレイ	21.43%	ハクセキレイ	17.39%
ハクセキレイ	17.07%	カワラヒワ	16.67%	カワラヒワ	17.39%
オナガ	14.63%	オナガ	14.29%	オナガ	10.87%
カワラヒワ	12.20%	コゲラ	14.29%	コゲラ	8.70%
コゲラ	12.20%	ヤマガラ	7.14%	ヤマガラ	6.52%
モズ	7.32%	モズ	2.38%	モズ	2.17%
アオバズク	0.00%	アオバズク	0.00%	アオバズク	2.17%

2014年度調査での ランキング		2013年度調査での ランキング		2012年度調査での ランキング		2011年度調査での ランキング		2010年度調査での ランキング	
スズメ	84.78%	スズメ	79.59%	スズメ	91.49%	スズメ	96.15%	スズメ	91.10%
ヒヨドリ	63.04%	ヒヨドリ	63.26%	キジバト	59.57%	ヒヨドリ	65.38%	ヒヨドリ	60.96%
キジバト	60.87%	シジュウカラ	57.14%	ヒヨドリ	51.06%	キジバト	64.10%	キジバト	50.68%
シジュウカラ	54.35%	キジバト	53.06%	シジュウカラ	46.81%	ツバメ	36.99%	シジュウカラ	48.63%
ムクドリ	47.83%	ツバメ	51.02%	ハジブトガラス	40.43%	ハジブトガラス	46.15%	ツバメ	36.99%
ツバメ	41.30%	ムクドリ	36.73%	ツバメ	34.04%	シジュウカラ	46.15%	ムクドリ	32.19%
メジロ	39.13%	メジロ	32.65%	ムクドリ	29.79%	ムクドリ	47.44%	メジロ	29.45%
ハジブトガラス	34.78%	ハシボソガラス	30.61%	メジロ	25.53%	メジロ	29.49%	ハジブトガラス	26.03%
ハシボソガラス	30.43%	ハクセキレイ	28.57%	ハシボソガラス	25.53%	ハシボソガラス	19.23%	ハクセキレイ	18.49%
ハクセキレイ	17.39%	ハジブトガラス	18.36%	オナガ	12.77%	ハクセキレイ	19.23%	ハシボソガラス	17.12%
オナガ	15.22%	オナガ	18.36%	ハクセキレイ	10.64%	オナガ	19.23%	オナガ	10.96%
モズ	13.04%	カワラヒワ	14.28%	コゲラ	10.64%	コゲラ	8.97%	コゲラ	10.96%
コゲラ	10.87%	コゲラ	12.24%	カワラヒワ	6.38%	カワラヒワ	7.69%	カワラヒワ	8.90%
カワラヒワ	8.70%	ヤマガラ	10.20%	ヤマガラ	4.25%	モズ	7.69%	モズ	4.79%
ヤマガラ	4.35%	モズ	4.08%	モズ	4.25%	ヤマガラ	2.56%	ヤマガラ	4.79%
アオバズク	0.00%	アオバズク	0.00%	アオバズク	0.00%	アオバズク	1.28%	アオバズク	0.68%

●こんな鳥たちもお庭に！ ～その他に見られた鳥～

- ・コサギ ・イソヒヨドリ ・ウグイス ・コガラ ・カッコウ ・エナガ ・ホトトギス
- ・ホオジロ ・キジ ・アオサギ ・コジュケイ ・イワツバメ 等



●調査概要

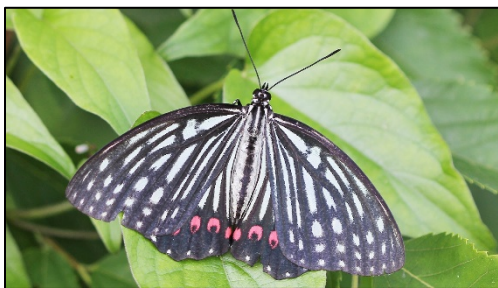
▽お庭で見かけたあらゆる生きものについて、種類と数を記録する調査。
 ▽調査参加庭数： 51 庭 ▽調査報告件数： のべ 3,805 件

●お庭で見られた生きものの種類

分類群	目撃された種類	分析対象件数 (種名が明確なもの)	報告のべ件数	2010～2018年度 調査を合わせた総計	
昆虫類	13目118科377種	1,927件	のべ2,445件	1042種	(+56種)
鳥類	4目15科21種	242件	のべ246件	56種	(+2種)
両生類	2目4科8種	51件	のべ60件	16種	(+2種)
は虫類	1目4科6種	100件	のべ108件	16種	(+0種)
ほ乳類	4目7科7種	11件	のべ13件	11種	(+2種)
その他	50種 (クモ類7科35種 陸産貝類4科7種 その他8種)	209件 (クモ類121件 陸産貝類24件 その他64件)	のべ316件	132種	(+10種)
計	469種	2,540件	のべ3,188件	1,273種	(+72種)

●こんな生きものたちもお庭で見られました！

※印はいわゆる外来種（移入種）の生きものたち。急速に全国に分布を拡げていますので、皆さんのお庭でも発見できるかも知れません。



アカボシゴマダラ

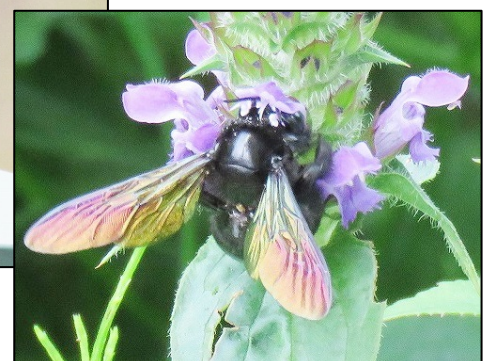
分類群	種名	報告された庭と報告件数	見られた都道府県
鳥類	キジ	1庭1件	新潟県燕市
	メボソムシクイ	1庭1件	三重県松坂市
	インヒヨドリ	1庭2件	大阪府河内長野市
昆虫類	ムネアカハラビロカマキリ※	1庭2件	愛知県豊田市
	タイワンタケクマバチ※	1庭5件	愛知県豊田市
	サトセナガアナバチ	1庭6件	東京都板橋区
	ヤマトタマムシ	2庭3件	東京都八王子、千葉県習志野市
は虫類	アカボシゴマダラ※	6庭10件	茨城県龍ヶ崎市、群馬県伊勢崎市、東京都板橋区・練馬区他
クモ類	ヤマカガシ	1庭1件	埼玉県富士見市
	ワスレナグモ	1庭2件	東京都板橋区
	セアカゴケグモ※	1庭1件	三重県松坂市

●お庭を利用する生きものは 1,273 種類も確認されました。

2010 年度から 9 年間、多くのお庭で「お庭の生きもの目録」調査が行われ、昆虫類を始めとして、2018 年度は 469 種類、これまでと合わせ 1,273 種類の生きものが確認されました。どのような生きものたちがお庭をよく利用するのか… この調査の蓄積は、その答えに迫る大事な鍵となるはずです。



インヒヨドリ



タイワンタケクマバチ

鋭意製作中!

庭の 生きものハンドブック (仮称)



NPO 法人 生態教育センターでは、2010 年度から取り組んできた「お庭の生きもの調査」のこれまでの成果を元に、庭にやってくる昆虫類や鳥類などの小動物を広く一般の方々に紹介し、かつ、今後のお庭の生きもの調査にも役立つことのできる図鑑『庭の生きものハンドブック (仮称)』を、調査開始 10 年目を機に、2019 年度中の完成・発売に向けて、企画・製作しています。

これまで「お庭の生きもの調査」にご参加頂きながらも、なかなか生きもの判別が難しく、正しい調査結果を記入できているのかどうか不安だった……という方も多かったことと思います。今回の『庭の生きものハンドブック (仮称)』はそうした方にもピッタリな図鑑として使って頂けるよう、以下のような内容を目指しています。

- これまで「お庭の生きもの調査」で確認された生きものたちを中心に、
 - ・昆虫類 約 250 種
 - ・鳥類 約 40 種
 - ・哺乳類 約 14 種
 - ・爬虫類 約 4 種
 - ・両生類 約 2 種
 - ・その他 (クモ類等) 約 29 種

…等について、写真と解説で、その生態を説明する図鑑です

- お子様や初心者の方にも、できる限りわかりやすく判別方法を記載。

メジロ (スズメ目メジロ科)

学名: *Dendrocopos kizuki*
英名: Japanese white eye



①頭部から背中、翼などが鮮やかな黄緑色 目の周りは白い②花の蜜を好む③木の枝の先に作られた巣④木の実も好む (写真はカクレミノの実) ⑤よく間違えられるウグイス (大きさ 14~15.5cm) は、色が薄茶色く、目の周りの白い部分もない。

【大きさ】12cm (スズメより小さい)

【形態】頭から背中、尾羽にかけて鮮やかな黄緑色、腹部は薄く褐色味がかった白。目の回りが白く、名前の由来になっている。

【鳴き声】普段は「チー、チー」と鳴く。警戒しているときは「キリキリキリ」と高く細い声で鳴く。繁殖期には、チーチュルチーチュルと長く複雑な声で鳴く。この声は、「長兵衛、忠兵衛、長忠兵衛 (ちょうべいちゅうべいちょうちゅうべい)」とききなしされる。

【分布】北海道、本州、四国、九州、沖縄

【季節】一年中見られる (北海道では一部夏鳥)

【生息環境】平地から山地の樹林に生息する。市街地の小さな樹林などにも生息する。

【行動】ツバキやサクラ類、ビワなどの花の蜜や樹液なども吸う。シジュウカラやコゲラなどと一緒には混群とよばれる群れを作って行動することもある。

【繁殖】木の枝先に、細い枝やシュロの樹皮などを使って小さな巣を作る。

【ひとこと】小さくかわいらしい鳥です。木の実や花の蜜等を好み、庭にもよくやってきます。動きがすばやいので花の蜜を吸うときなどが観察しやすいでしょう。

「生きもの写真募集」

へのご応募、誠にありがとうございました！

昨年度に行いました、図鑑『庭の生きものハンドブック（仮称）』への掲載写真の募集に対して、たくさんのご応募をいただきまして、誠にありがとうございました。写真を使用させていただく際は、紙面編集の段階で掲載写真が決まり次第、あらためてご確認の連絡をさせて頂く予定です。

○写真の使用について

- ・誠に申し訳ありませんが、非営利活動法人の自主事業としての取り組みですので、写真の使用料をお支払いすることはできません。どうぞご了承ください。
- ・写真を使用させて頂いた場合、出来上がった図鑑の巻末に謝辞とともにお名前を掲載させていただきます。
- ・著作権は各撮影者様に帰属します。当生態教育センターは図鑑を作成する際に、その使用許可を頂く形となります

今年度の調査と並行して編集作業を行い、「お庭の生きもの調査」10年目となる2019年度中の完成を目指して作業を行います。どうぞお楽しみに！

●調査参加メンバーの皆様から寄せられた「声」のご紹介

「お庭の生きもの調査」の各種調査シートの「気づいたこと」欄などに頂いた、参加メンバーの皆様から寄せられた、生きものや環境に関する気づきなど、様々な声をご紹介します。生きものをめぐる状況も、猛暑や台風など、私たちが昨年体験した気象状況と、けっして無縁ではなさそうです。

▼「はじめての生きもの調査」調査より

- 今年は虫が少ない。特に桜や落葉樹は毎春ぶらさがる虫が殆んど見つからない。小鳥たちが子育てに困っているようです。（5月/大阪府河内長野市）
- 最近めっきりスズメが少なくなった。自宅東側の土台ワキに置いてあった堆肥袋をどかしたら2匹のヤマカガシが居た。年に何回かヘビ類（シマヘビ、アオダイショウ）を庭や畑で見かけるがヤマカガシは最近では初めてであった。（5月/埼玉県富士見市）
- とにかく毎日暑い。暑すぎる。蚊がとても少ないように見え、シジミチョウの仲間はいつもより多くいる気がする。（8月/千葉県船橋市）
- カマキリ、バッタは相当弱っているみたい。今年の暑さのせいであろうか。それにしても、ヤマガラが今年は飛来しない。いつもエゴノキの実を食べに来るのであるが…。（8月/滋賀県大津市）
- 庭に面した隣家が建築中で様子が変わった為か全くスズメがおりなくなった。田の米が実る頃には毎年、少なくなるが、それにはまだ早いように思う。（8月/神奈川県厚木市）

▼「お庭にやってくる野鳥の調査」調査より

- 5年程毎年来ていた手乗りのヤマガラが来なくなった。淋しい。4月末で我が家の野鳥食堂は閉店となって、ナメクジ被害が出た。（5月/大阪府河内長野市）
- ヤマモモの木につけた巣箱にコガラが入っていた。（ヒナ2羽）（5月/福岡県福岡市）
- コゲラが2羽窓に当たり、1羽は死亡し、1羽は手当てをして逃がしてやりました。（8月/岡山県倉敷市）

- 9月中旬頃から早朝オナガが来るようになった。9月下旬、柿の実が赤くなり始めたら、ムクドリが盛んに来るようになった。同じ頃、ヒヨドリも来るようになった。(9月/千葉県船橋市)
- 9月30日に通過した台風24号とそれに伴う塩害により、草木の葉が枯れ、咲いていたアベリアの花も散り、さらに、熟したエノキの実が落ちるなどし、その影響で庭を訪れる昆虫が激減したためか、10月前半は、野鳥の声を聴くことが少ない印象でした。(10月/千葉県習志野市)

▼「お庭の生きもの目録」調査より

- 隣にあった屋敷林が、昨年5月から伐採され、住宅工事が行われています。700坪ほどの森林がなくなり、住宅になったことで、見られる生き物もかなり減るものと予想されますが、記録を続けたいと思います。(5月/東京都西東京市)
- ナナホシテントウ。すごい数の幼虫がピオラやピバーナムのアブラムシを食べていたが、ある時一気に蛹になり、塀に蛹がびっしりついていました。その後続々成虫になり、再びピバーナムのアブラムシを食べて、アブラムシがいなくなるとテントウムシもいなくなりました。(5月/東京都練馬区)
- ムクドリが、外に置いているネコのエサ(キャットフード)を食べに来ました。(5月/三重県松阪市)
- チョウセンイタチが庭を通過。5月と6月に2回。近くの道路を渡る場面も見たので、どこかにいる可能性あり。(6月/兵庫県尼崎市)
- クマゼミ。おそらく庭で羽化したてでフジウメモドキを登っていた。庭には抜け殻が見られる。(7月/静岡県三島市)
- ルリタテハの幼虫。今まで毎年ホトトギスを食害されてきました。イラガの幼虫そっくりなので、イラガだとばかり思っていました。ネットで調べるとルリタテハの幼虫のようです。(10月/神奈川県横浜市)
- チリグモが、自分より数倍大きな蟻をぐるぐる巻きにして捕えていました。動画撮りました。何度見ても感動ものです。(10月/神奈川県横浜市青葉区)

●「お庭の生きもの調査」は、以下のような皆様にご協力いただきました。
 「お庭の生きもの調査」へ参加登録していただいた方のお住まいや年齢層などのプロフィールです。ご協力ありがとうございました。

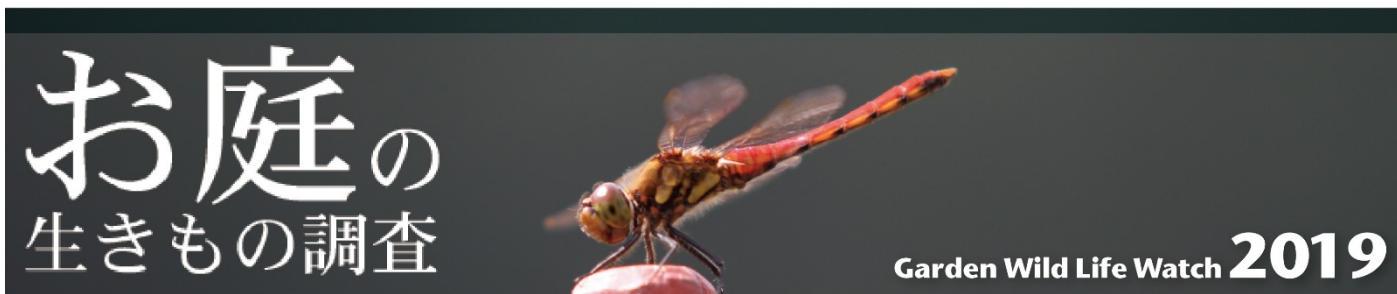
▼都道府県別登録者数

北海道	5	東京都	155	滋賀県	32	香川県	12	
青森県	4	神奈川県	113	京都府	31	愛媛県	9	
岩手県	6	新潟県	13	大阪府	46	高知県	3	
宮城県	19	富山県	3	兵庫県	65	福岡県	36	
秋田県	1	石川県	1	奈良県	23	佐賀県	6	
山形県	6	福井県	7	和歌山県	10	長崎県	9	
福島県	13	山梨県	9	鳥取県	2	熊本県	13	
茨城県	33	長野県	9	島根県	6	大分県	8	
栃木県	24	岐阜県	36	岡山県	30	宮崎県	1	
群馬県	18	静岡県	38	広島県	23	鹿児島県	1	
埼玉県	66	愛知県	84	山口県	22	沖縄県	2	
千葉県	77	三重県	33	徳島県	4	不明	99	
							計	1266

▼年齢層別登録者

～10代	69
20代	33
30代	128
40代	196
50代	222
60代	335
70代～	134
不明	149
計	1266

●「お庭の生きもの調査」は、今後も続いていきます。
ご興味のある方は、ぜひ調査への継続的な参加をご検討ください。



第10回（2019年度）調査を実施します！

○10年目となる第10回（2019年度）の調査は、例年通り**5～10月**の期間に実施いたします。その間に、可能ならば毎月、お忙しければ1回のみでも結構ですので、調査結果をご報告ください。調査の内容や方法に変更はなく、生きものの初心者の方も、ベテランの方も、自宅で楽しみながら生物多様性保全活動に参加することができる調査になっていますので、ご賛同いただけるようであれば、ぜひエントリーをお願いいたします。

- ▼**団体での参加**も歓迎します。これまでにも以下のような参加事例があります。ご相談ください。
- ・小中学校の夏休みの課題として、「はじめての生きもの調査」を実施。
 - ・市区町村における生涯学習、環境学習、環境大学の課題として、各種調査に参加 ……等々。

▼第1～9回調査の際にご登録済みの方は、新たな登録は不要です。

- ・調査シートをご利用の方は、例年同様、郵送・FAXでご報告ください。
- ・WEBサイトをご利用の方は、これまでと同じID・パスワードで報告専用ページにご入場いただけますので、必要事項を入力し、送信してください。

<http://www.wildlife.ne.jp/ikimono/>

- ・以前に登録だけはされたものの、調査や報告はできなかった方でも、もちろん参加可能です。

「お庭の生きもの調査」WEB サイト

調査報告専用ページ

■お問い合わせ、参加申込みは……

[主催]



N P O 法人
生態教育センター

<http://www.wildlife.ne.jp/>

〒189-0013

東京都東村山市栄町 2-28-5

小河原ビル 3F

TEL:042-390-0032 FAX:042-390-1237

e-mail : ikimono@wildlife.ne.jp